

株式会社ニレコ(6863) 2017年3月期 決算説明資料

2017年6月6日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

業績推移



実績及び計画
総括

受注高 7,567百万円
(15/3期比+22%)

売上高 7,472百万円
(15/3期比+22%)

営業利益 649百万円
(15/3期は5百万円の営業損失)

▶ 前期比大幅な増収とともに
黒字回復

受注高 7,584百万円
(16/3期比+0%)

売上高 7,401百万円
(16/3期比▲1%)

営業利益 537百万円
(16/3期比▲17%)

▶ ほぼ計画通りの着地

受注高 8,200百万円
(17/3期比+8%)

売上高 8,000百万円
(17/3期比+8%)

営業利益 620百万円
(17/3期比+15%)

▶ 市場環境、受注環境を鑑み
増収増益の計画

重点テーマ

市場の拡大

技術の進化

+

株主還元

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

事業基盤の拡大強化

競争優位性の向上

安定配当の維持を基本に配当性向35%を目標に実施

17/3期の取組み

- ・プロセス韓国市場の開拓強化
- ・加工食品検査分野への参入
- ・センサ、光学技術の研究強化
- ・レーザー技術の取り込み
- ・自己株式90万株を消却
- ・年間配当20円を決議

1. 前期実績
2. 今期計画
3. 持続的成長に向けて

1. 前期実績 (2016/4 – 2017/3)

連結実績

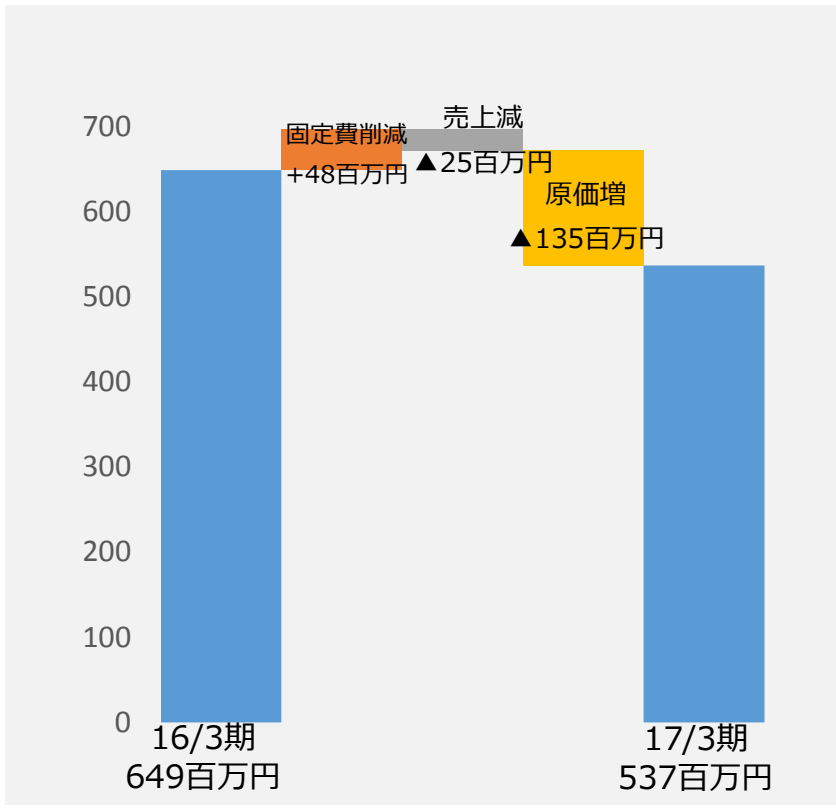
- 受注高、売上高とも第3四半期以降好調に推移
- 利益面はウェブ事業の売上好調、固定費削減により計画値上振れ

(単位：百万円)

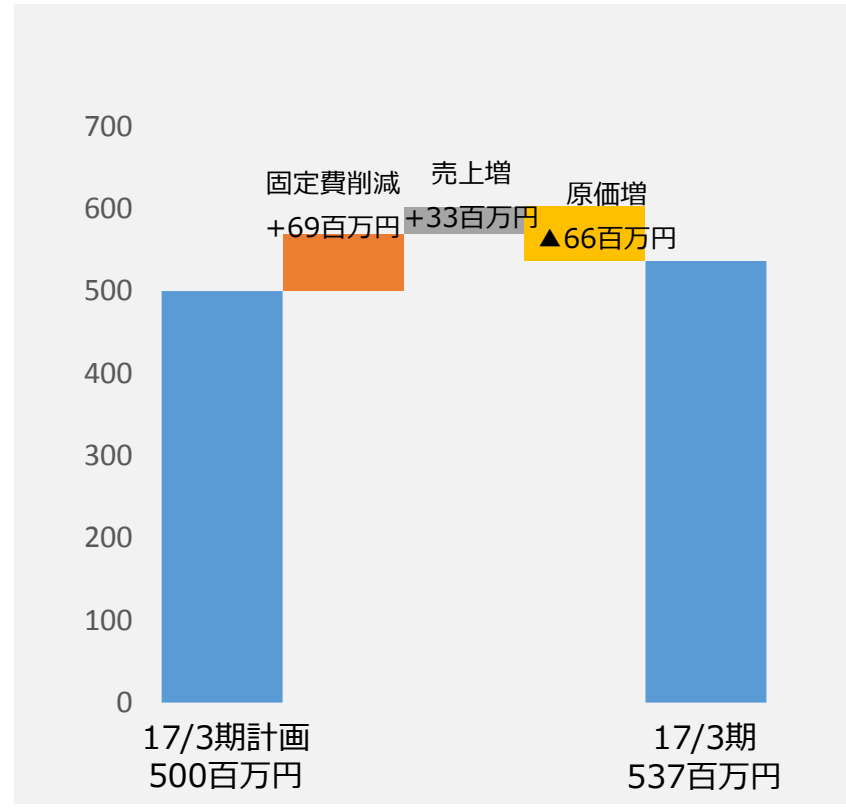
	16/3期	17/3期		増減率	
	実績	計画	実績	前期比	計画比
受注高	7,567	7,500	7,584	+0%	+1%
売上高	7,472	7,300	7,401	▲1%	+1%
営業利益	649	500	537	▲17%	+7%
営業利益率	8.7%	6.8%	7.2%	-	-
経常利益	686	520	572	▲17%	+10%
経常利益率	9.2%	7.1%	+7.7%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	476	340	368	▲23%	+8%
当期純利益率	6.4%	4.7%	4.9%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	65.80	46.60	50.39	▲23%	+8%

営業利益増減要因

前期比



計画比



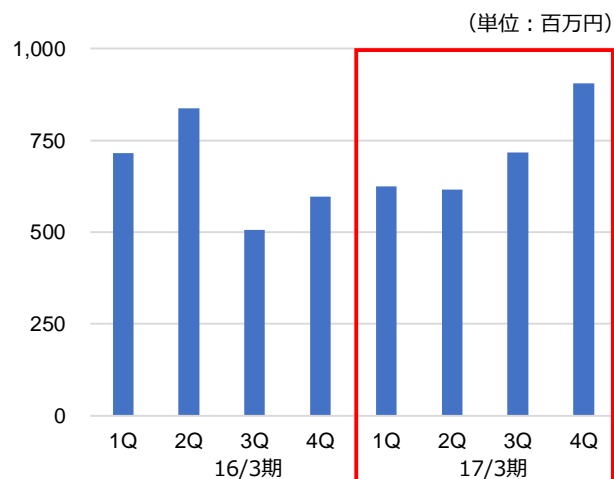
プロセス事業

- 受注高、売上高とも第3四半期以降好調に推移
- 注力製品である計測装置の販売が徐々に拡大

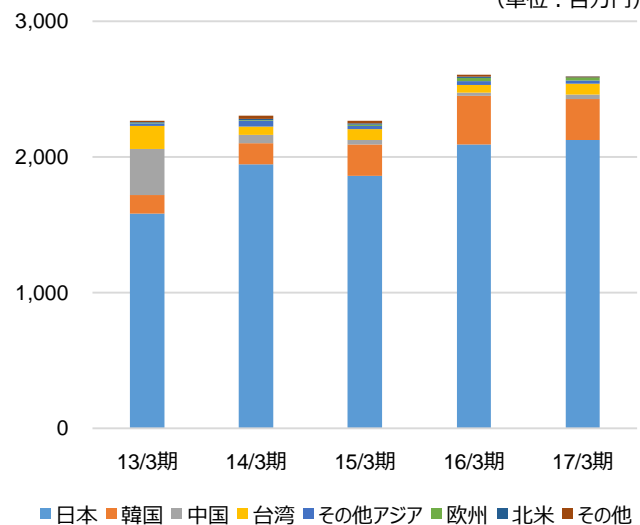
(単位：百万円)

	16/3期		17/3期		増減率	
	実績	計画	実績	計画	前期比	計画比
受注高	2,656	2,750	2,862		+8%	+4%
売上高	2,610	2,650	2,606		▲0%	▲2%
セグメント利益	610	440	434		▲29%	▲1%
セグメント利益率	23.4%	16.6%	16.7%		-	-

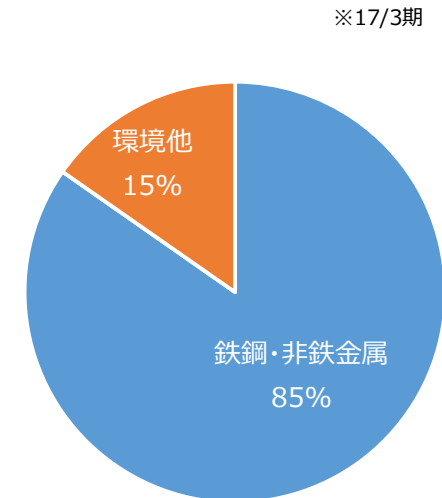
受注高推移



地域別売上高推移



業種別売上構成比



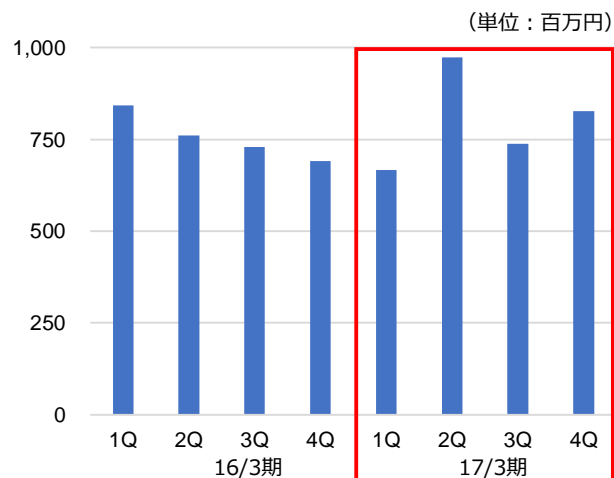
ウェブ事業

- 受注高、売上高ともに計画超
- 継続的なコストダウン、固定費削減により、大幅な増益

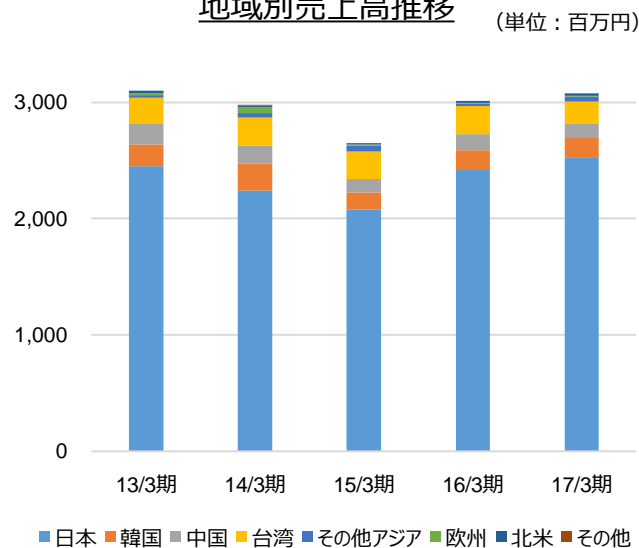
(単位：百万円)

	16/3期 実績	17/3期		増減率	
		計画	実績	前期比	計画比
受注高	3,022	2,900	3,204	+6%	+10%
売上高	3,018	2,900	3,077	+2%	+6%
セグメント利益	352	440	562	+60%	+28%
セグメント利益率	11.7%	15.2%	18.3%	-	-

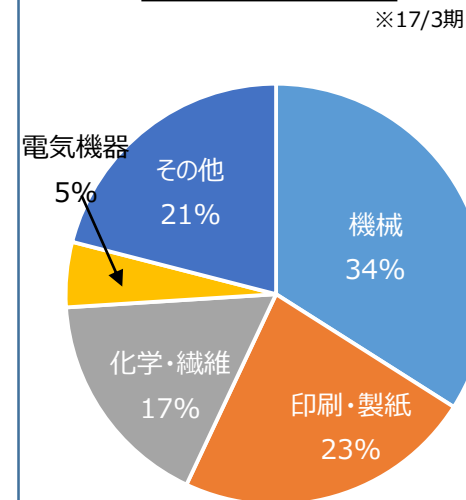
受注高推移



地域別売上高推移



業種別売上構成比



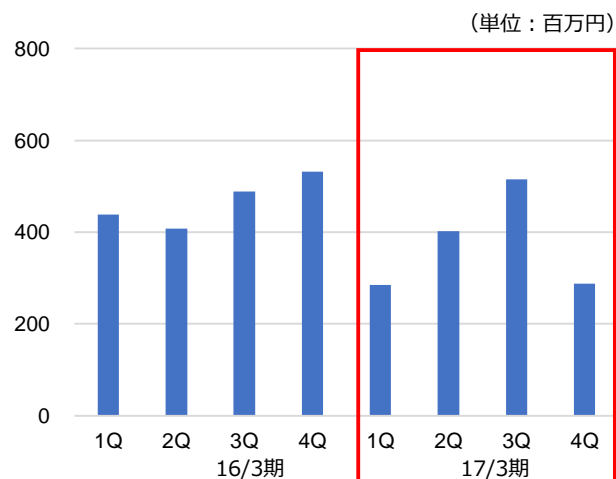
検査機事業

- 選果装置の受注ずれ込みにより全体では計画未達
- 無地検査装置並びに加工食品検査装置の引合増

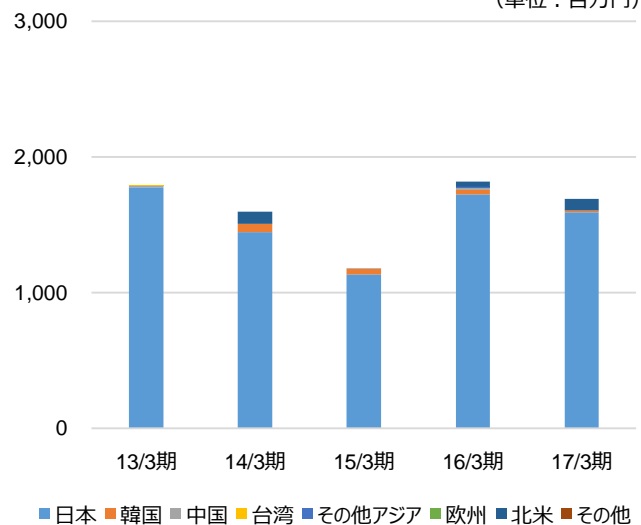
(単位：百万円)

	16/3期 実績	17/3期		増減率	
		計画	実績	前期比	計画比
受注高	1,866	1,850	1,488	▲20%	▲20%
売上高	1,820	1,750	1,691	▲7%	▲3%
セグメント利益	221	150	63	▲71%	▲58%
セグメント利益率	12.1%	8.6%	3.7%	-	-

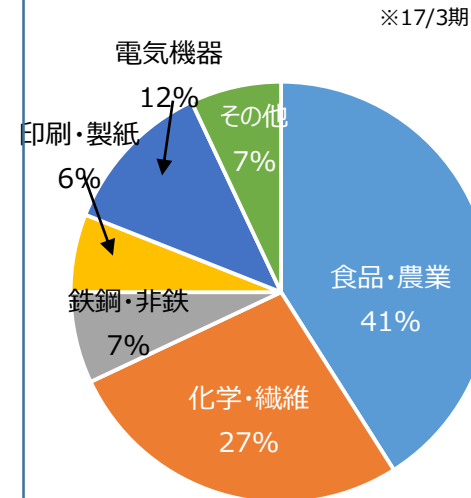
受注高推移



地域別売上高推移



業種別売上構成比

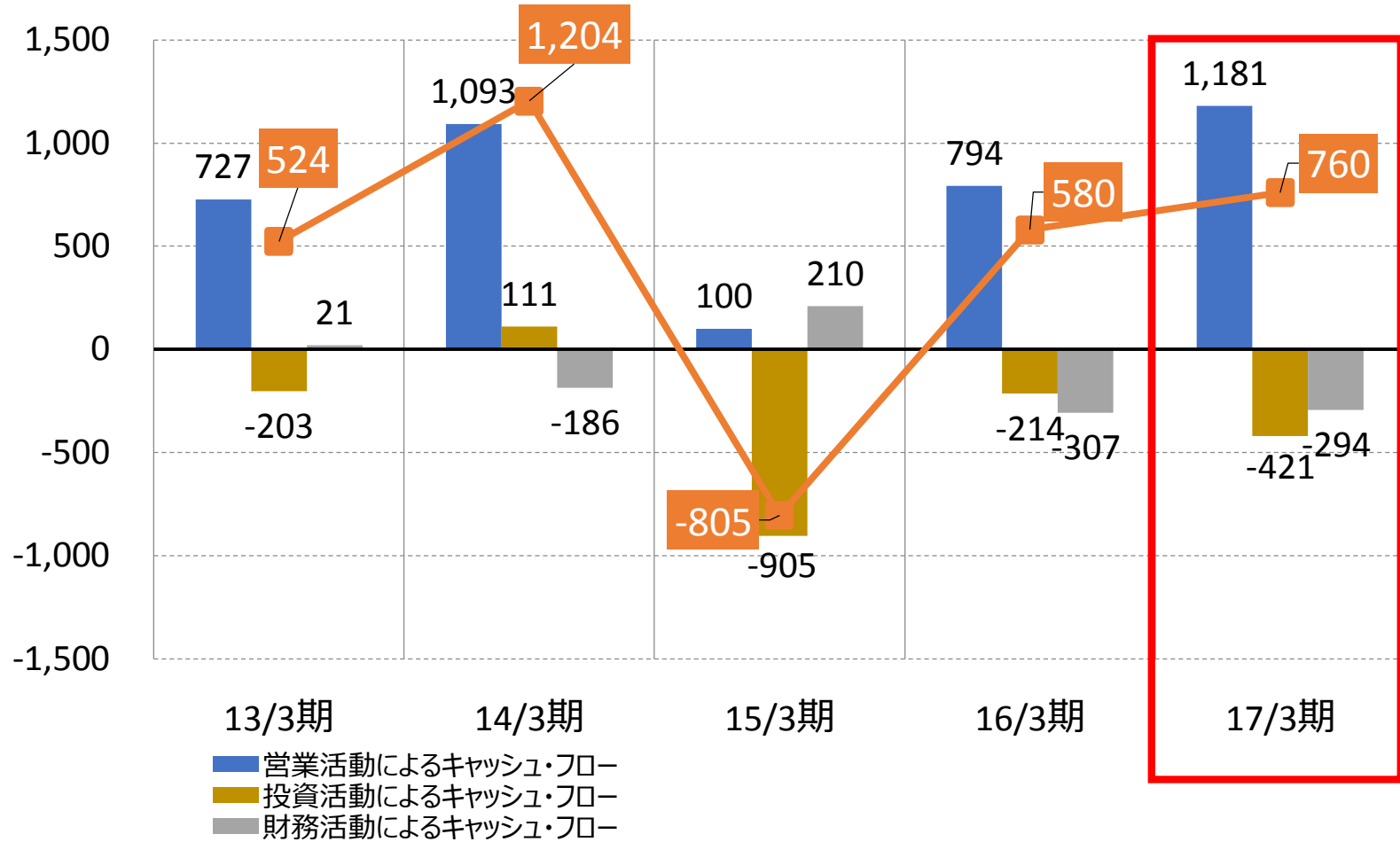


貸借対照表

(単位：百万円)

	16/3期		17/3期		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
現金・預金	4,485	33.9%	5,130	36.3%	+ 645
売上債権	2,909	22.0%	3,007	19.0%	+ 98
有価証券	31	0.2%	14	0.1%	▲ 17
棚卸資産	2,011	15.2%	1,572	11.1%	▲ 439
その他流動資産	318	2.4%	264	1.8%	▲ 54
流動資産	9,756	73.8%	9,989	70.7%	+ 233
有形固定資産	2,129	16.1%	2,153	15.2%	+ 24
無形固定資産	84	0.6%	459	3.2%	+ 375
投資その他資産	1,251	9.5%	1,524	10.8%	+ 273
固定資産	3,465	26.2%	4,137	29.3%	+ 672
資産合計	13,221	100.0%	14,127	100.0%	+ 906
買入債務	337	2.5%	325	2.3%	▲ 12
その他流動負債	1,026	7.8%	1,304	9.2%	+ 278
流動負債	1,363	10.3%	1,629	11.5%	+ 266
固定負債	459	3.5%	681	4.8%	+ 222
負債合計	1,823	13.8%	2,310	16.4%	+ 487
純資産合計	11,398	86.2%	11,817	83.6%	+ 419
負債・純資産合計	13,221	100.0%	14,127	100.0%	+ 906

キャッシュ・フローの状況



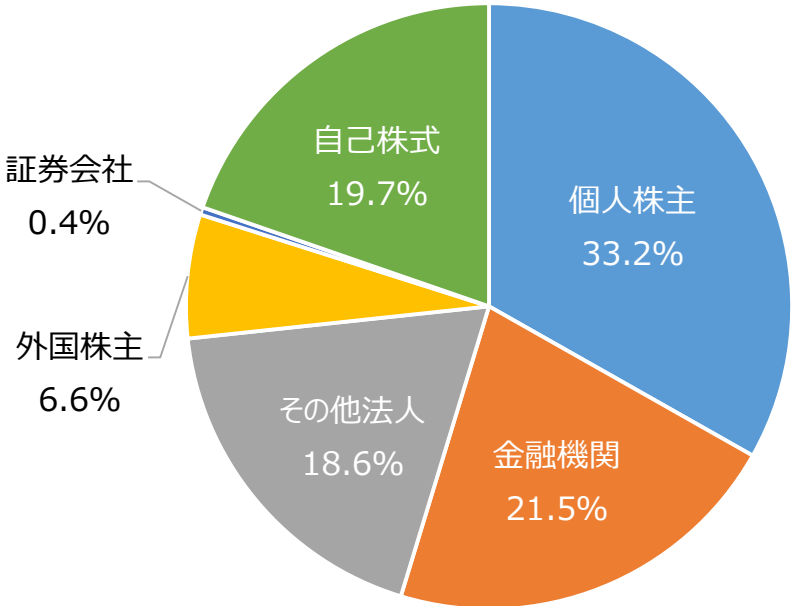
※フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

トピックス/自己株式の消却

発行済株式数の減少を通じた株主価値、資本効率の向上を目的に
 2017年2月28日付で90万株の消却（消却前発行済株式総数
 に対する割合9.78%）を実施

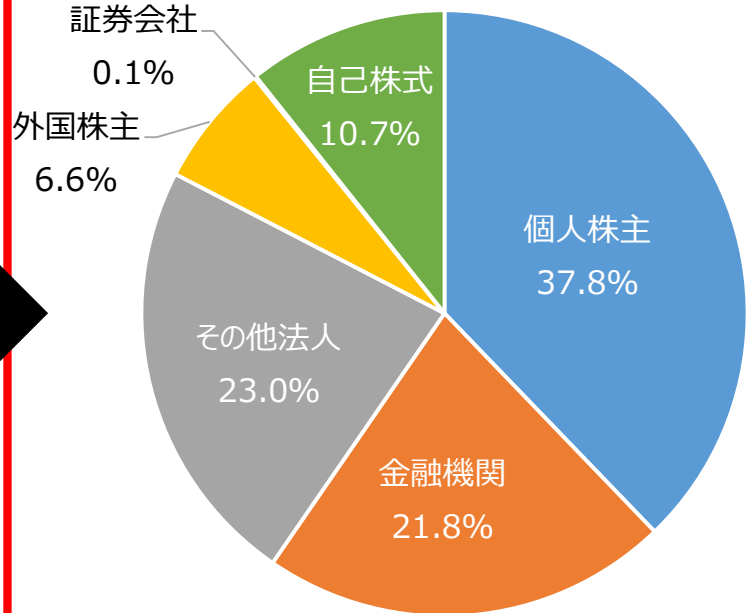
消却前の株式分布状況（2016年3月31日時点）

発行済株式総数：9,205,249株



消却後の株式分布状況（2017年3月31日時点）

発行済株式総数：8,305,249株



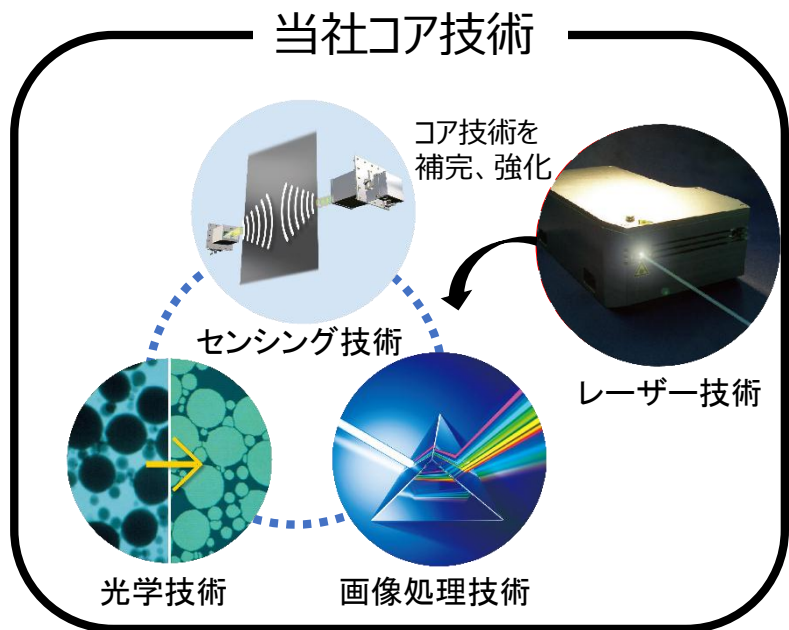
トピックス/株式会社メガオプトの子会社化

2017年2月28日付で全株式を取得し子会社化

目的

- 当社既存技術にメガオプトの強みであるレーザー技術を取り込むことによるコア技術強化
- レーザー技術活用による新規事業分野への参入
- グループメリットを活かしたメガオプト独自事業の規模拡大

※報告セグメントはその他



既存事業分野におけるシナジー効果

レーザー技術を用いた新たな計測・検査装置の開発

新規事業分野への展開・活用

医療診断、半導体検査、微細加工分野への参入

2. 今期計画 (2017/4 – 2018/3)

連結計画

- 受注高、売上高はメガオプトの子会社化による効果含め、前期比増の計画
- 利益面は製品コストダウン、増益の計画

(単位：百万円)

	17/3期 実績	18/3期 計画	増減率 実績比
受注高	7,584	8,200	+8%
売上高	7,401	8,000	+8%
営業利益	537	620	+15%
営業利益率(%)	7.2%	7.8%	-
経常利益	572	720	+26%
経常利益率(%)	7.7%	9.0%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	368	500	+36%
当期純利益率(%)	4.9%	6.3%	-
1株当たり当期純利益(円)	50.39	67.94	+35%

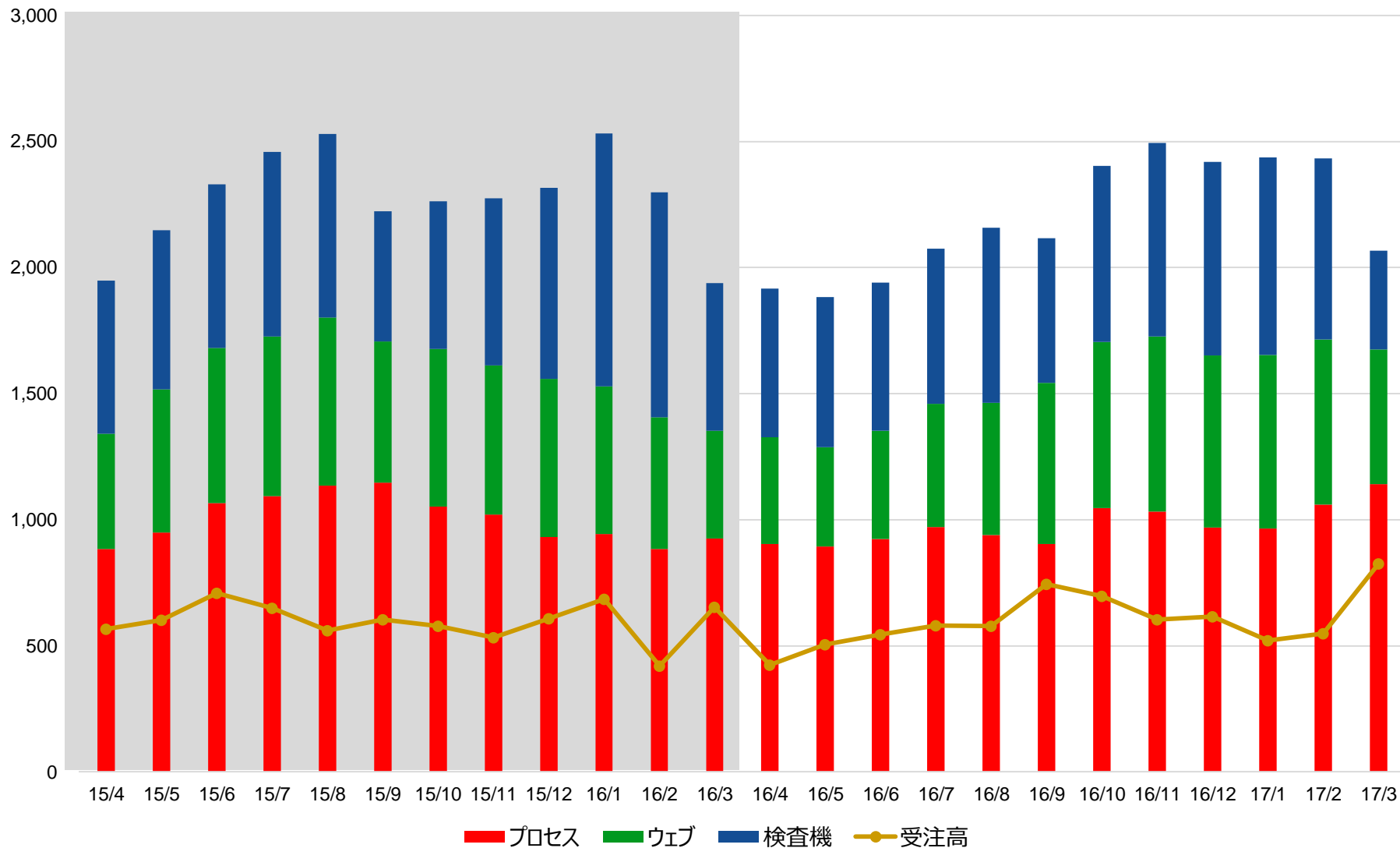
受注残高状況推移

➤ 受注環境が徐々に改善し、受注残高も増加傾向

(単位：百万円)

16/3期

17/3期



セグメント別対象市場の状況と施策：プロセス事業

国内鉄鋼市場

- ・老朽設備更新、品質向上のための設備投資需要続く
- ・原材料高騰に伴う収益性悪化により設備投資抑制懸念あり



- ・引き続き品質向上に資する製品の販売に注力
- ・更新サービス需要の計画的な取り込み

海外鉄鋼市場

- ・中国での継続した新規設備投資の加速
- ・韓国では設備更新需要を中心に拡大傾向

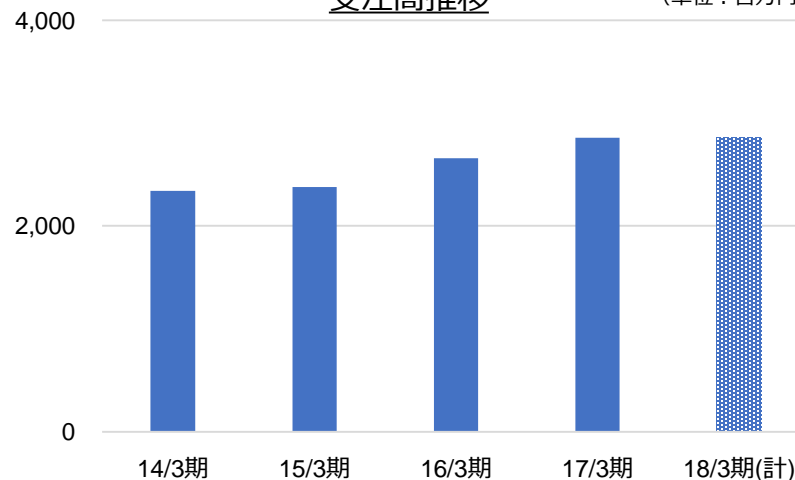


- ・子会社を活用した中韓市場のシェア向上に注力
- ・海外向け製品開発に注力

	17/3期 実績	18/3期 計画
受注高	2,862	2,860
売上高	2,606	2,720
セグメント利益	434	530
セグメント利益率	16.7%	19.5%

受注高推移

(単位：百万円)



セグメント別対象市場の状況と施策：ウェブ事業

高機能フィルム市場

- ・電池、ディスプレイ向けを中心に堅調
- ・機械メーカーは数年分の受注残を確保済



- ・市場評価の高いデザインポジションコントロールシステムの販売を強化・拡大
- ・機械メーカー向け製品の設計能力強化

印刷市場

- ・注力分野の特殊印刷、軟包装は安定
- ・段ボール市場が活性化、低成長ながらも拡大傾向

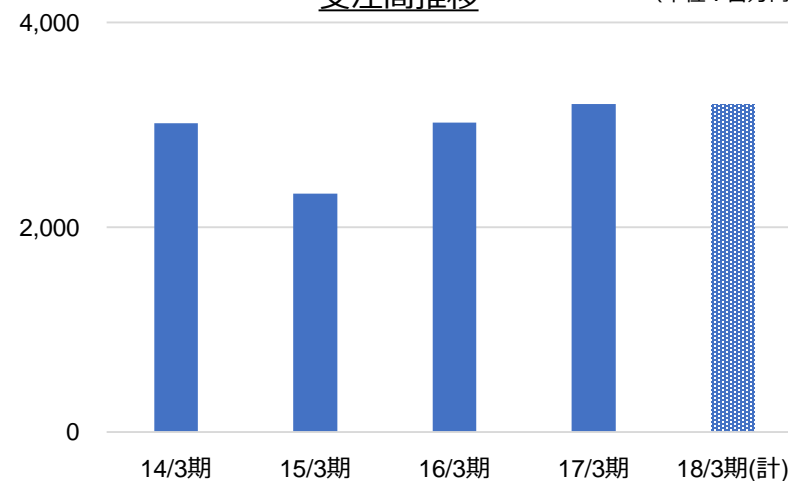


- ・食品パッケージ向けを中心に製品投入を継続
- ・段ボール業界への展開を強化。張力制御装置、糊付け装置を中心に販売

	17/3期 実績	18/3期 計画
受注高	3,204	3,200
売上高	3,077	3,080
セグメント利益	562	540
セグメント利益率	18.3%	17.5%

受注高推移

(単位：百万円)



セグメント別対象市場の状況と施策：検査機事業

高機能フィルム市場

- ・電池、ディスプレイ向けを中心に堅調
- ・検査精度のユーザー要求レベルが高度化



- ・既存製品の完成度を高め、コストダウン、要求水準を満たす検査精度の実現を目指す
- ・次世代向け検査装置の開発着手

食品市場

- ・選果装置の更新需要、価格競争続く
- ・個食化、消費者の安全意識向上により食品検査需要は旺盛

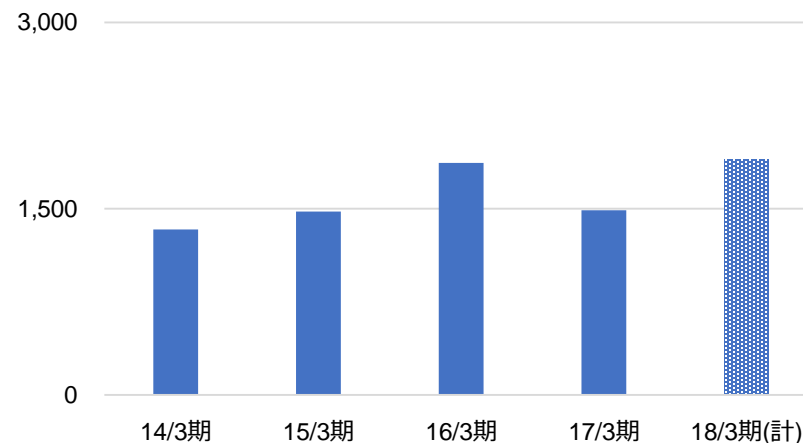


- ・選果装置の受注は採算性の高い案件に限定
- ・食品検査の引き合い増、パッケージ向け食品検査装置の開発強化

	17/3期 実績	18/3期 計画
受注高	1,488	1,900
売上高	1,691	1,920
セグメント利益	63	130
セグメント利益率	3.7%	6.8%

受注高推移

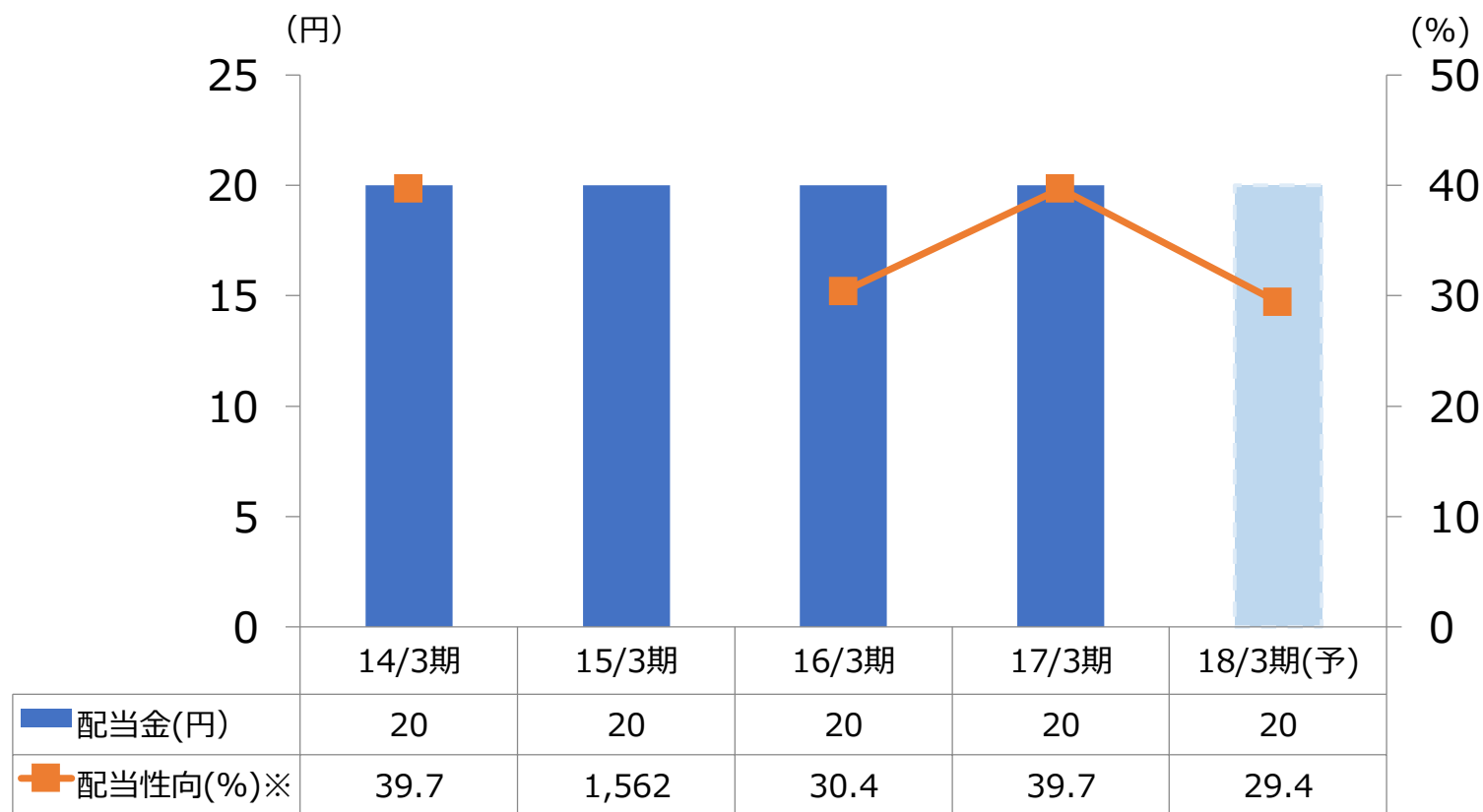
(単位：百万円)



株主還元について

基本方針 安定配当の維持を基本に連結配当性向35%を目標と定め、その実現を目指す

➤ 17/3期年間配当金は1株当たり20円（配当性向39.7%）

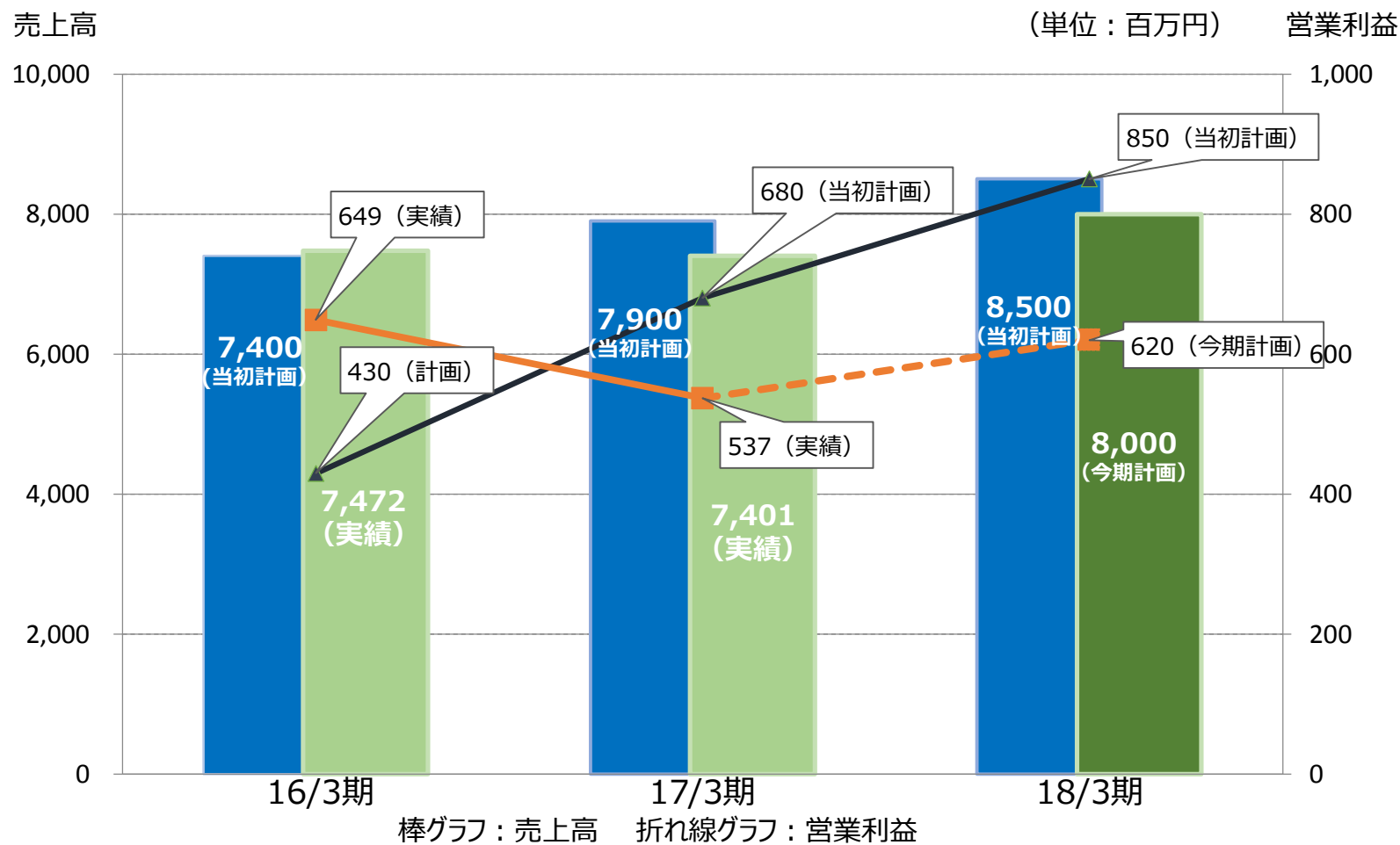


(※配当性向は連結ベースを表示)

3. 持続的成長に向けて

中期3カ年計画進捗

➤ 当初計画から下方修正したものの、重点テーマの推進により持続的成長の実現を目指す

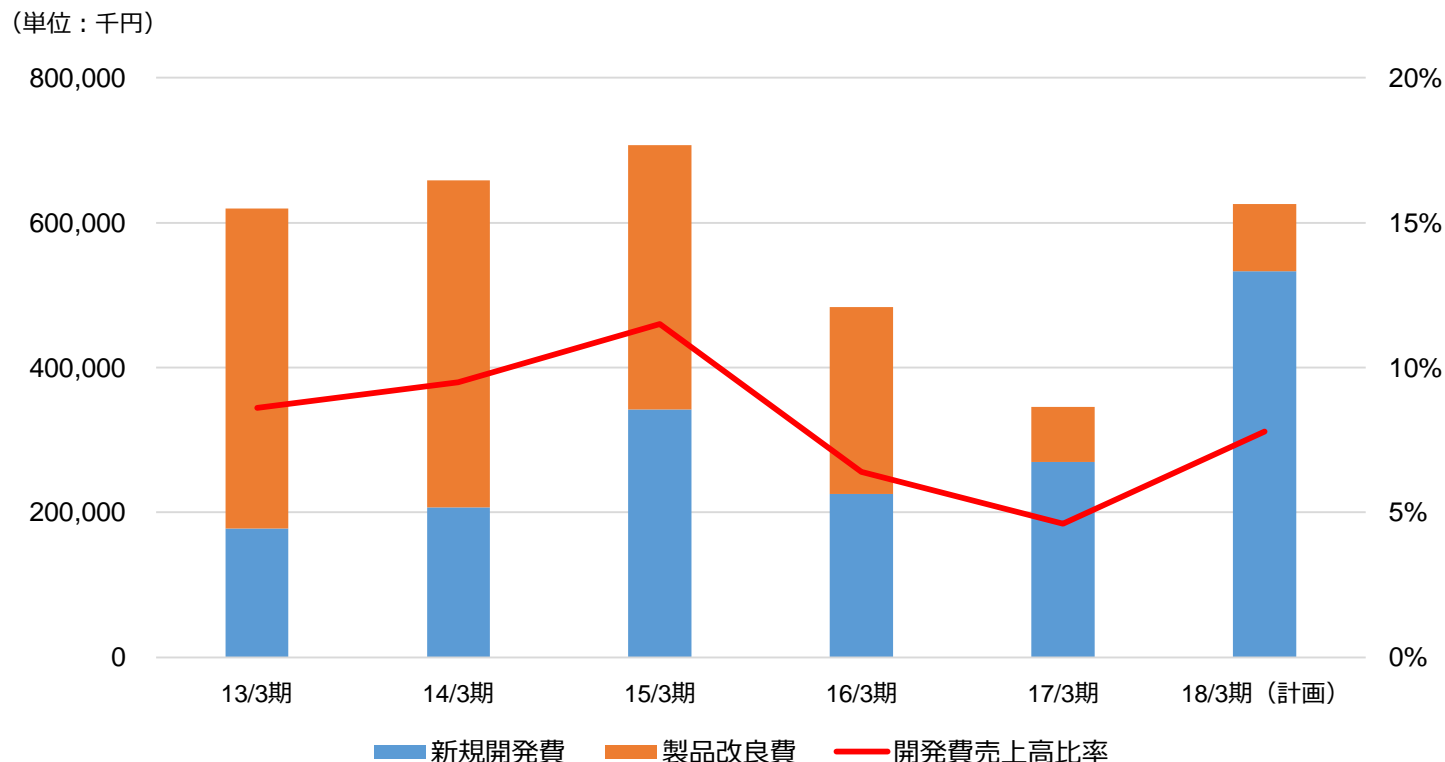


R&D

- 新たな収益源の創出に向けて新規開発案件への取組み強化
- 開発テーマの絞り込みによる開発期間の短縮・タイムリーな市場投入

主な開発テーマ

- ・次世代検査機の開発
- ・レーザー技術による製品開発
- ・磁界・マイクロ波技術による製品開発

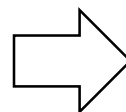


持続的成長に向けた重点テーマ

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

市場の拡大

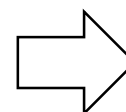
- ・プロセス事業における海外展開の推進強化
- ・検査機事業における食品業界への本格参入
- ・レーザー技術を活用した医療、半導体、微細加工分野の開拓



事業基盤の拡大強化

技術の進化

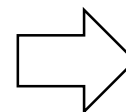
- ・磁界、マイクロ波技術による製品開発
- ・レーザー技術の取り込みによる光学技術強化
- ・次世代技術に対応した検査機の開発
- ・人的投資の強化



競争優位性の向上

経営体質の強化

- ・中長期的視点での積極的な成長投資による不足リソースの補完
- ・グループ連携強化によるシナジー最大化



経営基盤の強化

参考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	342名*
連結売上高	7,472百万円*

* 2017年3月期連結ベース

沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動控制机器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所（現東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2017年 : 株式会社メガオプトを子会社化

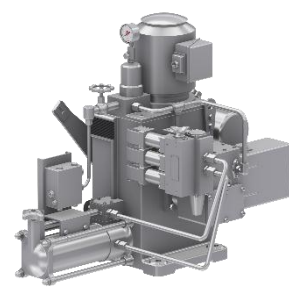
経営理念

「技術と信頼」

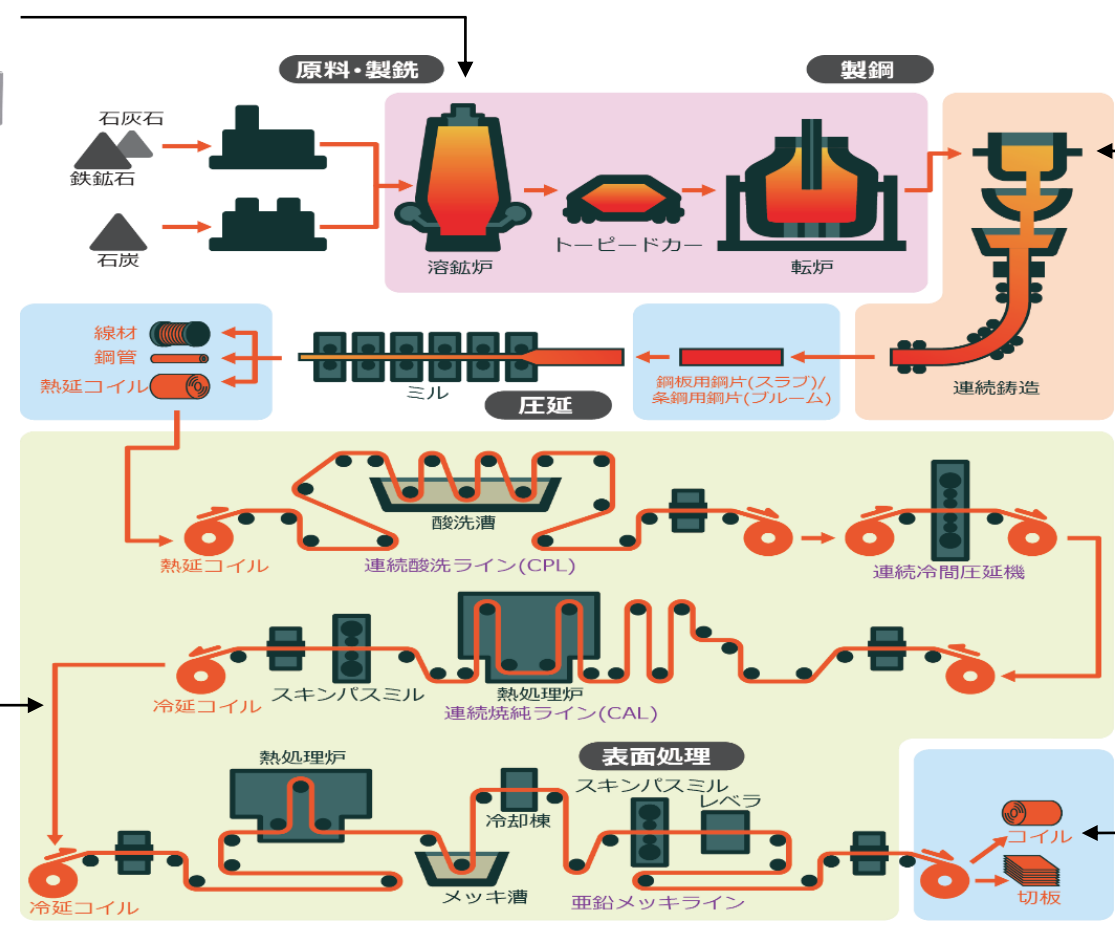
われわれは、制御、計測、検査技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。ひいてはパートナーシップにより生み出された価値が広く社会において喜びと感動をもたらす経営を目指します。

プロセス事業

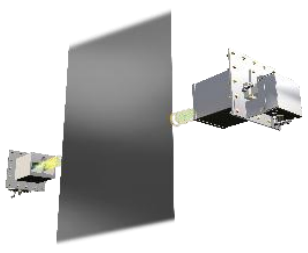
鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業などあらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



プロセス制御装置



渦流式溶鋼レベル計



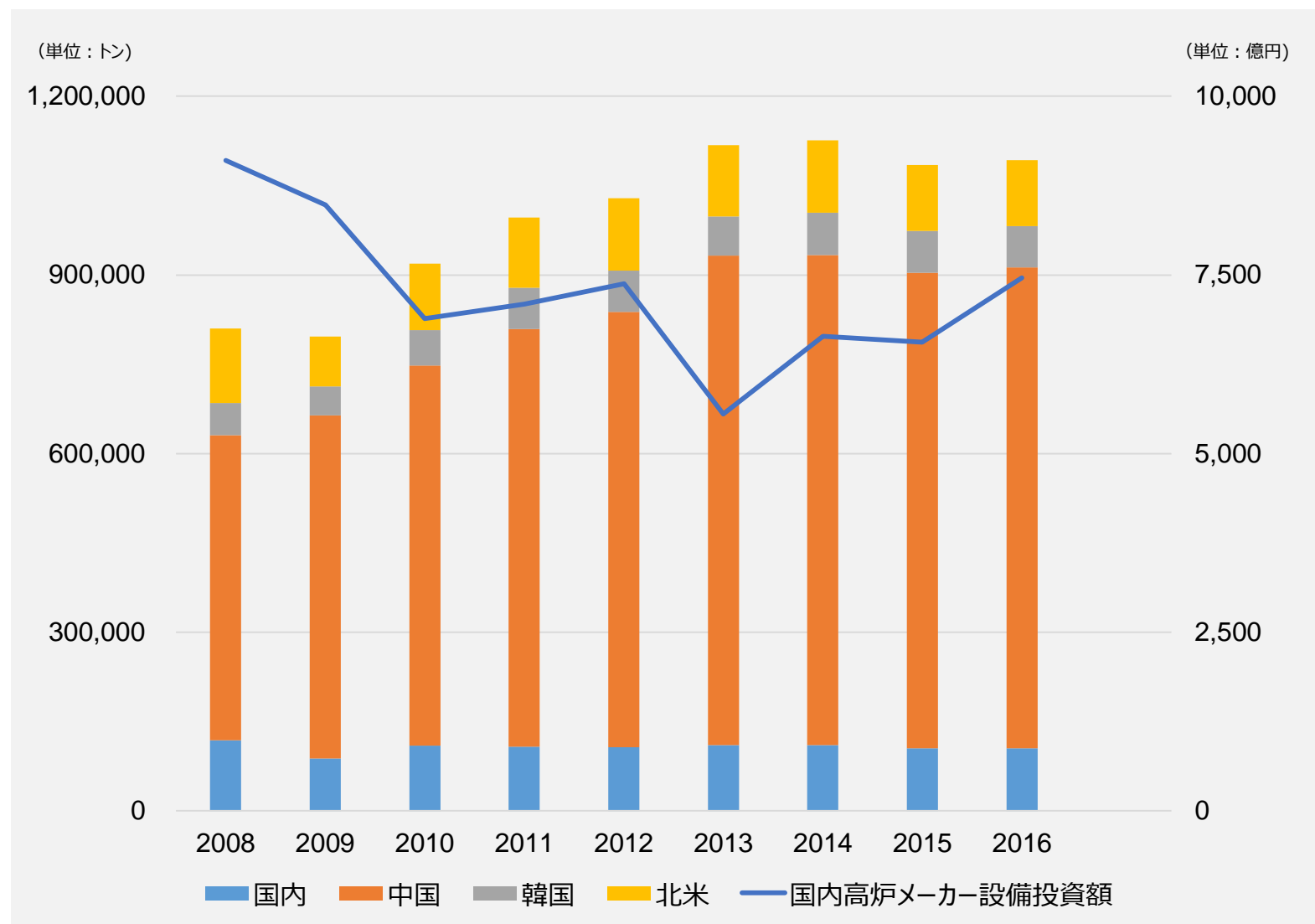
耳端位置制御装置



自動識別印字装置

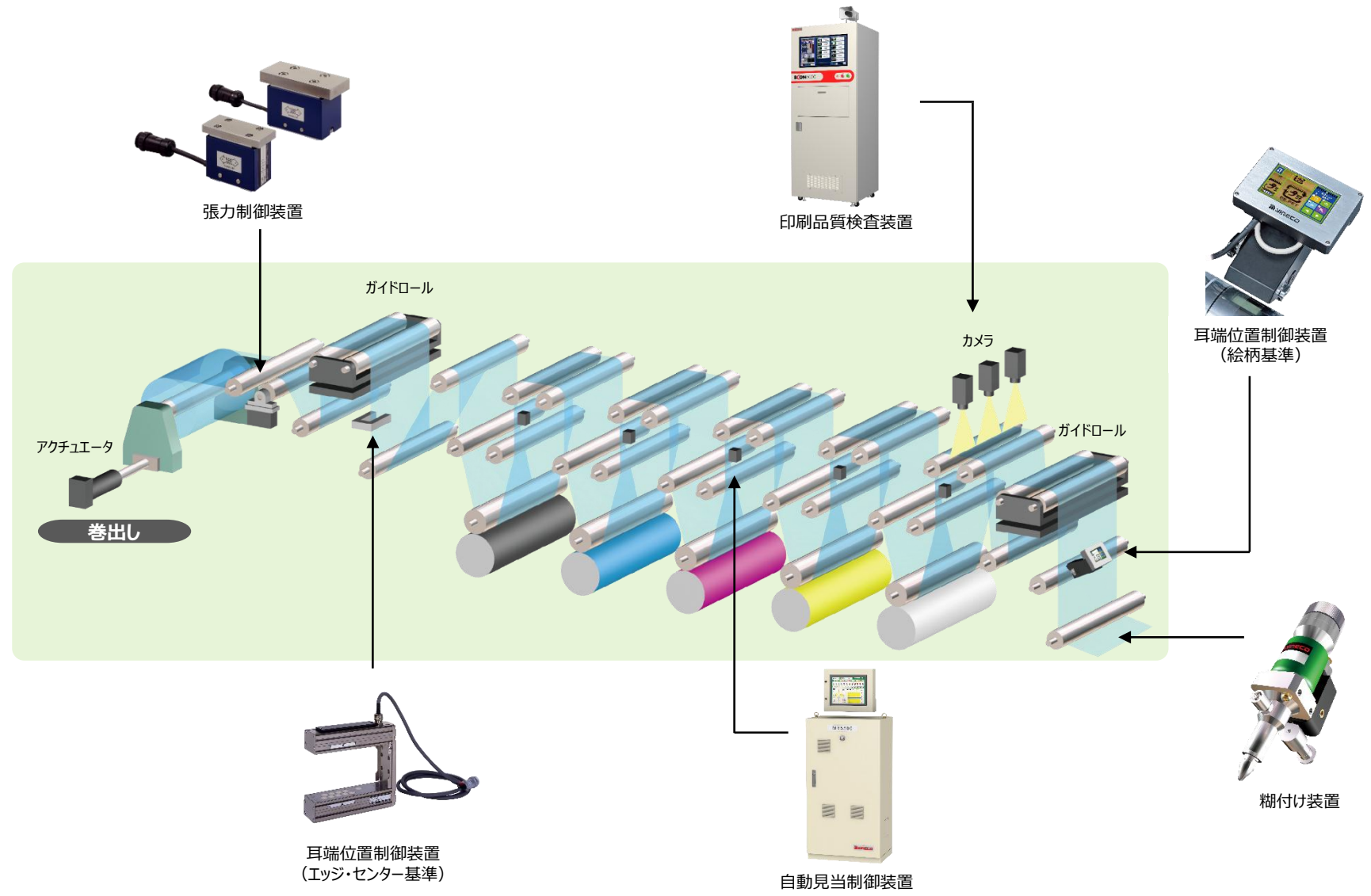
プロセス事業

地域別粗鋼生産量及び国内高炉大手設備投資額の推移



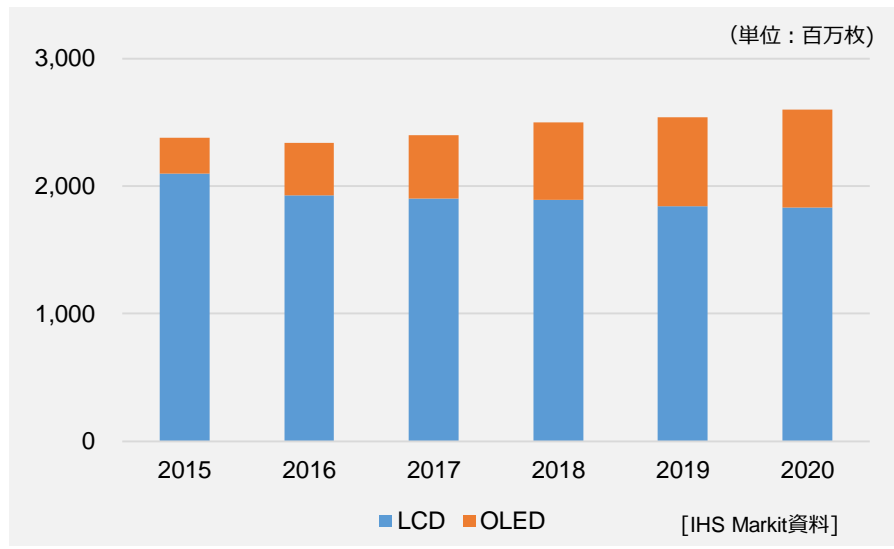
ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔など薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置などを扱う事業です。

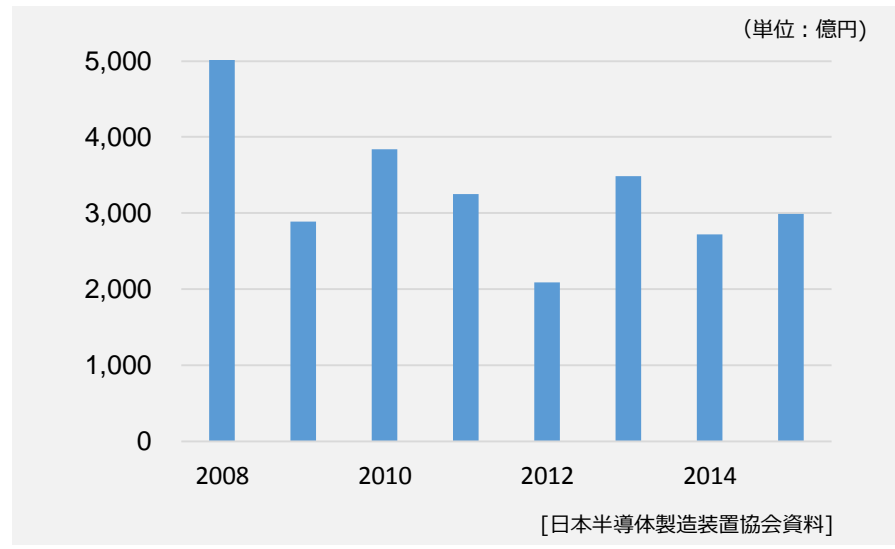


ウェブ事業

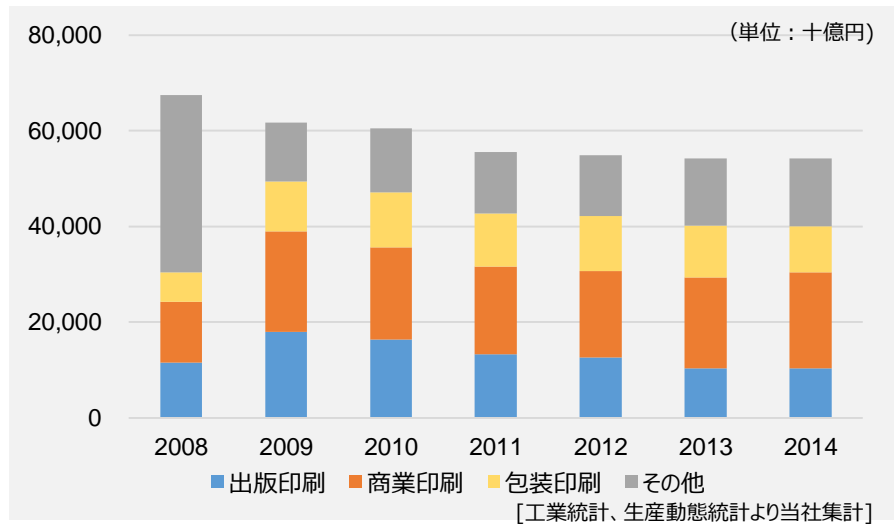
中小型パネル世界出荷数量予測



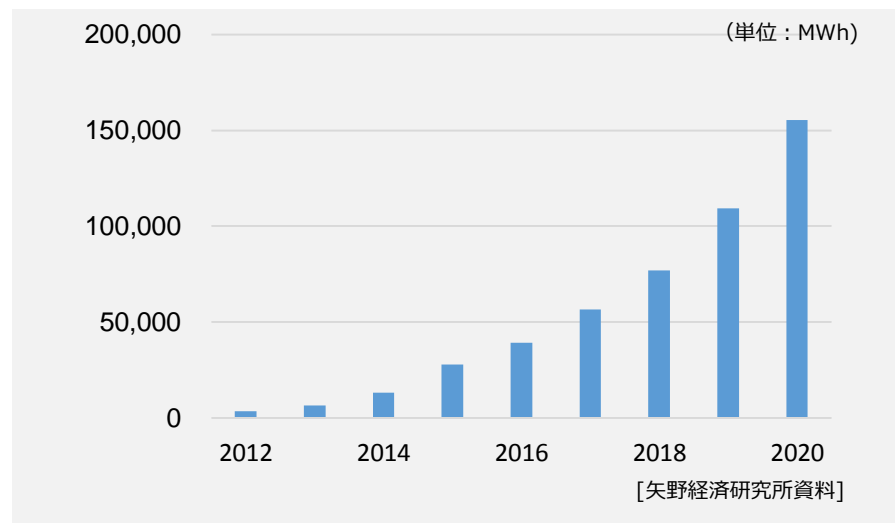
国産FPD製造装置販売高の推移



印刷市場規模の推移

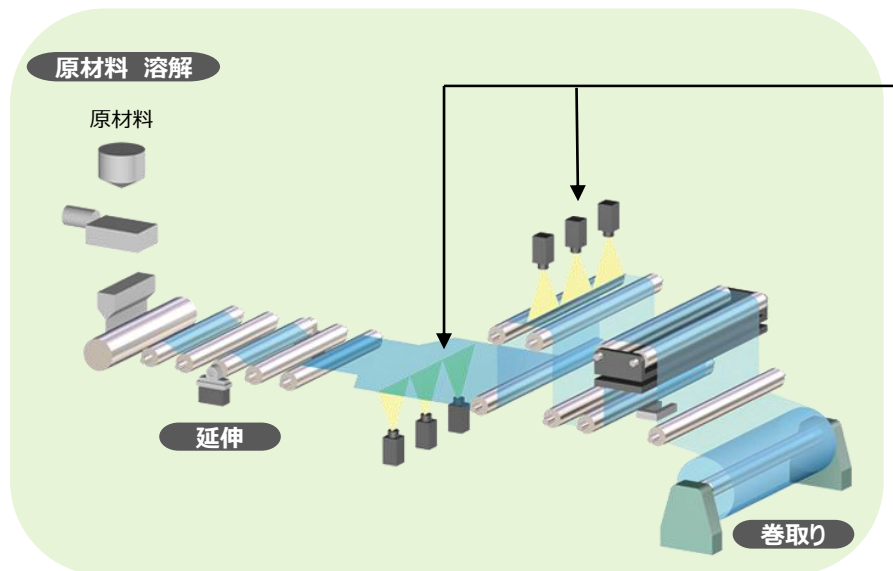


車載用Lib世界市場予測



検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



検査機事業

食品機械国内販売額の推移（除、加工機械）

